

# MITSUBISHI

CAR NAVIGATION SYSTEM

MODEL

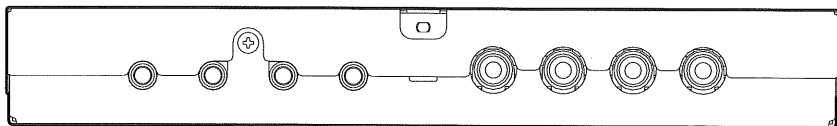
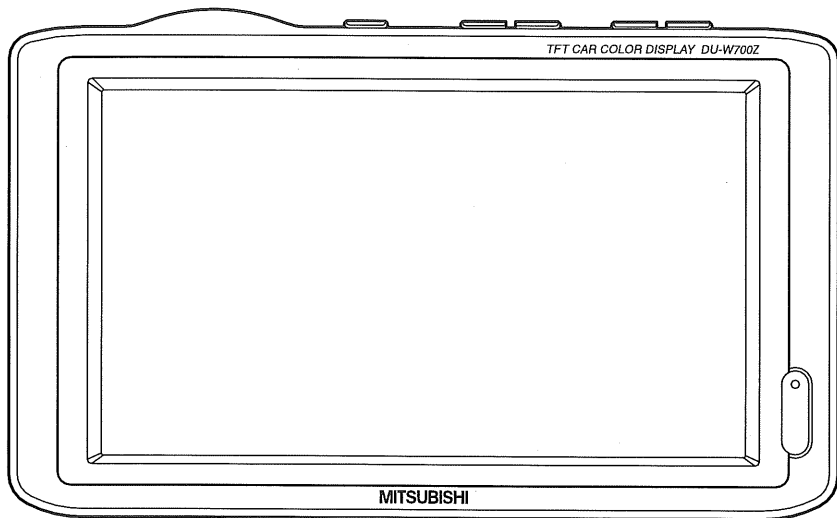
## CU-H9000シリーズ

### テレビ部取扱説明書

■お買い上げいただきありがとうございます。

この製品の機能を十分に活かし正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときもう一度ご覧ください。きっとお役に立ちます。

■本書は別紙、ナビゲーションシステム取扱説明書、取付要領書、保証書、サービス相談窓口一覧表と共に大切に保管してください。



# 主な特長

## 目次

### はじめに

主な特長	1
ご注意とお願い	2

### ご使用の前に

ご使用上のお願い	4
リモコンについて	5

### 操作方法

各部の名称と働き	7
各種設定と操作について	10
システム設定について	13
画質調整について	15
テレビを見るには	17
ビデオを見るには	18
ナビゲーションを見るには	18
リレーション機能について	19
画面モードの切り替え	21
ディスプレイ側での操作	22
映像出力について	23

### ご参考までに

故障かな？と思ったら	24
保証書とアフターサービス	26
主な仕様	裏表紙

### ディスプレイ部

- 対角18cm高品位ワイド画面・広視野角液晶(336,960画素)を採用
- 液晶画面を見やすい明るさに自動調光するオートディマー機能付
- 5種類(ノーマル/フル/ズーム/シネマ/ワイド)の画面モード切り換え機能付
- RGB入力方式により鮮明な映像を表示(ナビゲーション画面のみ)
- ナビゲーションシステム対応の音声ガイド用スピーカを内蔵
- 各種ボタンを装備し、基本操作がディスプレイ側で可能

### テレビチューナー部

- 車載用VTR機器接続に便利なピンジャック入力端子を装備
- オートサーチメモリー(10局)、プリセットメモリー(9局)の2つのメモリー機能付
- 2カ国語放送やステレオ放送が楽しめる音声多重復調回路を内蔵
- リレーション機能内蔵により、常に最適な受信チャンネルを確保
- カーラジオでテレビ音声やビデオ音声が楽しめるFMトランスミッター機能を内蔵(送信周波数は16種類より選択可能)

# ご注意とお願い

■製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載しています。

正しい取付け  
正しい操作で  
安全運転



■絵表示は次のような意味を示しています。



**警告**

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」であることを示しています。



**注意**

この表示の欄は、「人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」であることを示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

この表示記号は注意(警告を含む)を促す内容を表わしています。



禁止

この表示記号は行為を禁止する内容を表わしています。



実行

この表示記号は行為を強制したり指示する内容を表わしています。



**警告**

安全上お守りいただきたいこと

## 走行中は運転者による操作をしない

走行中は、運転者による操作をしないでください。交通事故の原因となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停止してから操作してください。



禁止

## 運転者は走行中に、ディスプレイ(液晶画面)を注視しない

前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。



禁止

## 電池は幼児の手が届かないところに保管する

事故防止のため、電池は幼児の手が届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実行

## 故障状態で使用しない

画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



禁止

## 異常が起きたら使用しない

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表記載の最寄りのサービス店にご相談ください。そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。



禁止

# ご注意とお願い(つづき)

## **注意** 安全上お守りいただきたいこと

### コードを引っばらない

コードを引っばったり、キズつけないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

### 機器内部に異物を入れない

機器内部に水や異物を入れないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

### 電池の極性に注意する

電池を機器内に挿入する場合、極性(⊖ ⊕)に注意し、表示通りに入れてください。電池の極性を間違えると乾電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。



注意

### 指定の乾電池を使用する

指定の乾電池以外は、使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。



注意

### 強い衝撃を与えない

落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を加えないようにしてください。破損や故障の原因となります。



禁止

### エンジンを止めた状態で使用しない

エンジンを止めた状態で長時間使用するとバッテリー上がりの原因となります。風通しのよい場所でエンジンをかけた状態で使用してください。



禁止

### 揮発性のものをかけない。ゴム・ビニール製品を接触させない

殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴム・ビニール製品を長時間接触させると変質したり塗料がはげるなどの原因となります。



禁止

### 液晶パネル面を押さない

液晶パネル面を押さないでください。故障の原因となります。



注意

### 適正な音量で使用する

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえないと事故の原因となることがあります。



注意

### リモコンを放置しない

停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。操作時以外はリモコンホルダーに収めるなどの処置をしてください。



注意

# ご使用上のお願い

## 携帯電話や無線機について

- 本機の近くで携帯電話や無線機を使用すると画面が乱れたり、内蔵スピーカーからの音声にノイズが入ることがあります。携帯電話や無線機の電源を切るか、本機から遠ざけてご使用ください。

## 液晶パネルについて

本機を使用中に次のような現象が起きることがあります。

- 液晶画面は正面からが一番きれいに見えます。画面を見る角度によって色が濃くなったり白っぽくなったりして見えることがあります。見やすい角度に調整してご使用ください。
- 液晶画面に薄い横縞が見えたり、残像(前に映っていた像が薄く残ること)が出る場合があります。
- 液晶画面の中に小さな黒い点や白く光る点(輝点)がでることがあります。これは液晶パネル特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たると光が反射して映像が見にくくなりますので直射日光をさそぎってください。
- 液晶画面照明に使用している小型冷陰極管には、寿命があります。(寒いところで使用すると寿命が短くなる場合があります。)画面がチラついたり、暗くなってきたときはお買い上げ店、または別紙サービス相談窓口一覧表のサービス店にご相談ください。

## お手入れについて。

- 液晶画面に付いたホコリや汚れを清掃する場合は、電源を切ってから乾いた柔らかい布で拭きとってください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメなどでキズつけないよう注意してください。また、ぬれたぞうきんやベンジン、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

## 高温検知について

- 本ディスプレイは異常高温検知機能を搭載しています。ディスプレイ内部の温度が規定以上に上昇した場合は、「高温検知です。画面を消します。」のメッセージが表示され約7秒後に自動的に画面が消えます。ディスプレイのいずれかのボタンを押すと復帰しますが繰り返し発生する場合は、以下の内容をご確認ください。

◎炎天下の直射日光によりディスプレイ本体が熱くなっていますか？



ディスプレイを涼しいところで冷却してください。

◎ディスプレイをエアコンの吹き出し口付近(熱風が吹きかかる場所)に取り付けていませんか？



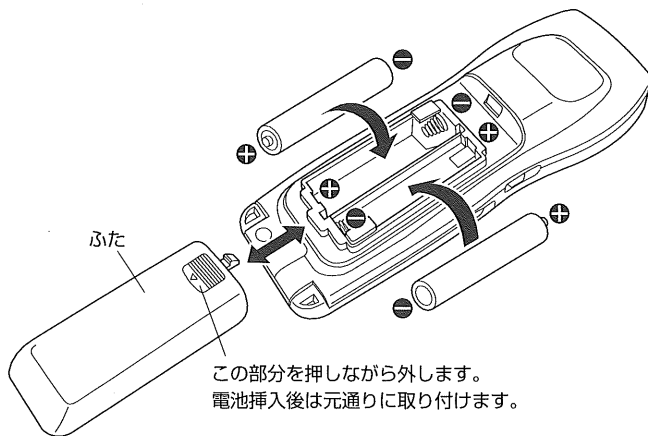
ディスプレイ取付位置を再度ご確認ください。

上記の処置で症状が改善されない場合はディスプレイの故障が考えられます。ただちに使用を中止し、お買い上げ店、または別紙サービス相談窓口一覧表のサービス店にご相談ください。

# リモコンについて

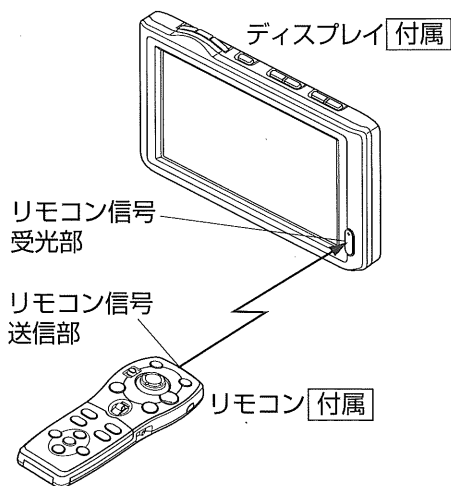
## ご使用のまえに

- 初めてお使いになるときは付属の乾電池(単4)2個を⊕⊖の向きに注意して入れてください。また、乾電池が消耗したときは市販の乾電池(単4)2個をお買い求めください。



## リモコンの操作方法

- リモコンの信号送信部をディスプレイのリモコン信号受信部に向けて操作してください。テレビ操作において一部使用しないボタンがあります。詳細はP.8の「各部の名称と働き」をご覧ください。



## 注意

### リモコンの取り扱いについて

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置しないでください。高温により変形や変色したり故障する恐れがあります。リモコンを使用しない場合は、グローブボックスなどの直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコン受光部に直射日光が当たるとリモコンの操作ができない場合があります。リモコン受光部に直射日光が当たらない状態で使用してください。

### 電池の取り扱いについて

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。
- $\oplus$  $\ominus$ の向きに注意して正しく入れてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液漏れが起こったときは、電池室についた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また万一、目に入ったときは、こすらずにすぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。
- 分解や加熱をしたり、水の中に入れてください。破裂するなどの恐れがあります。また、不要となった電池は各地方自治体の条例に従って廃棄してください。
- 充電しないでください。破裂の恐れがあります。
- 金属製のピンセットなどで電池をつかましないでください。ショート(短絡)します。
- 保管の際、幼児が飲み込む恐れがありますので手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだときは、直ちに医師の治療を受けてください。

# 各部の名称と働き(テレビチューナー部)

## (前 面)

### アンテナ入力端子<ミニジャック> (ANTENNA INPUT 1~4)

◎テレビアンテナ信号入力用ジャックです。

### 映像入力端子<ピンジャック> (VIDEO INPUT)

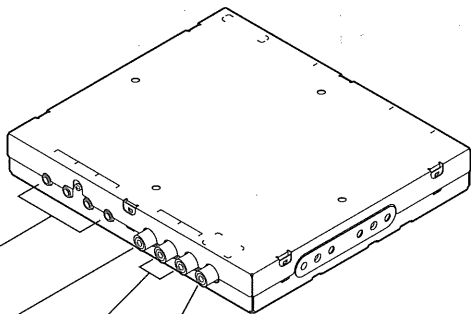
◎車載用VTR機器または後方監視カメラなどの映像信号入力用ジャックです。

### オーディオ入力端子<ピンジャック> (AUDIO L/R INPUT)

◎車載用VTR機器などの音声信号入力用ジャックです。

### 映像出力端子<ピンジャック> (VIDEO OUT)

◎映像信号を常時出力します。  
(チャンネル表示等はできません)



## (後 面)

### 電源コード接続端子<8P> (POWER SUPPLY)

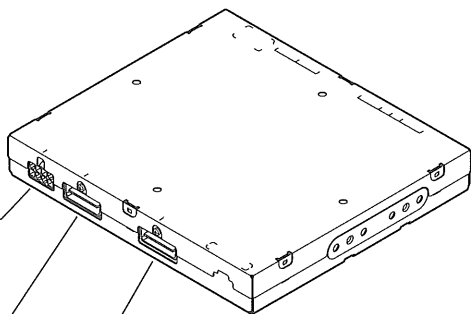
◎付属の電源コードを接続します。

### 専用ディスプレイ接続端子<22P> (TO DISPLAY UNIT)

◎ディスプレイからの接続コードを接続します。

### ナビゲーションユニット接続端子<22P> (TO NAVIGATION UNIT)

◎ナビゲーションユニットからの接続コードを接続します。



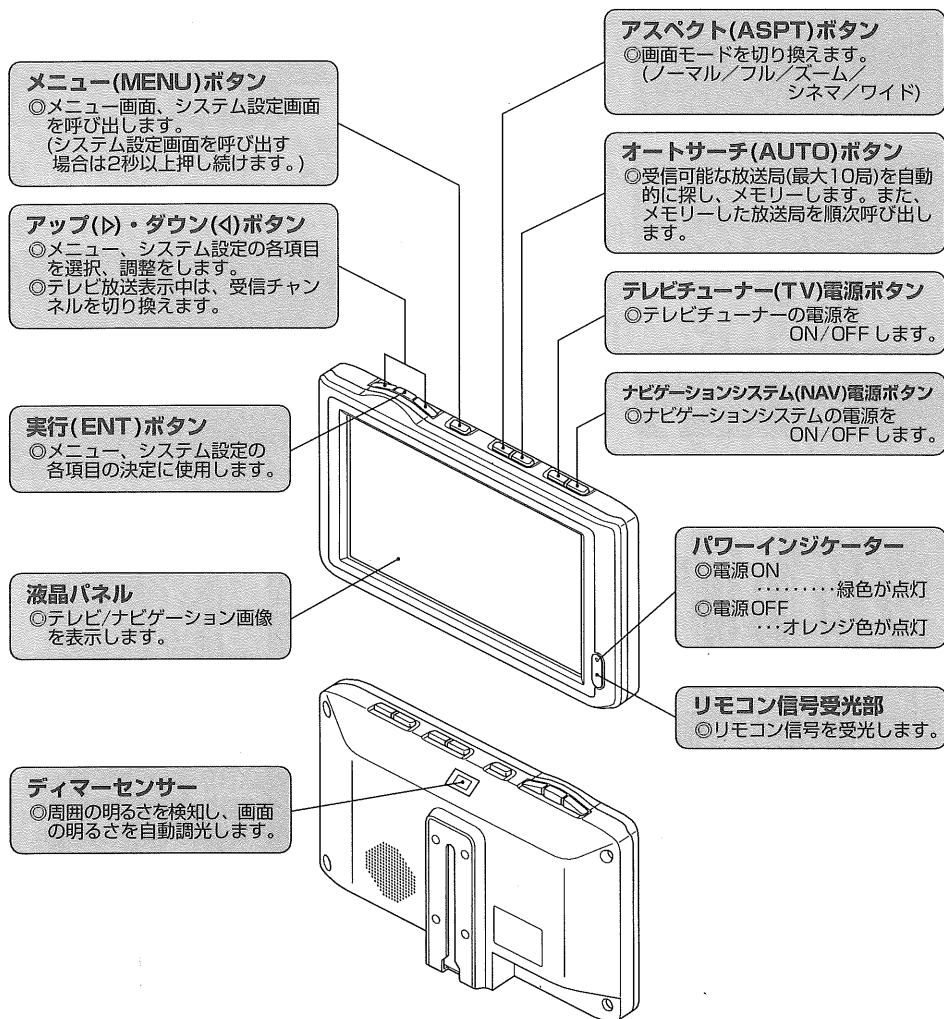
## お知らせ

◎テレビチューナーの映像出力端子にピンプラグコードが接続され、テレビチューナーの電源が“ON”の状態ではナビゲーション機器の音声出力の設定に関わらず、FMトランスミッターからはテレビ音声が出力されます。(ナビゲーション機器からの音声信号をFMトランスミッターから出力する場合、テレビチューナーの電源を“OFF”にしてください。)



# 各部の名称と働き(ディスプレイ)

- 当社製ナビゲーションシステムを接続時は、アスペクト(ASPT)ボタンにてナビゲーションの画面モードを切り換えることができません。但し、VIDEO信号入力で他社製ナビゲーションシステム等を接続した場合は、切り換えることができます。
- 本機は周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを切り換える『オートディマー機能』と車両の照明に連動して明るさを切り換える『ILL連動機能』を内蔵しています。詳細は、P.13『システム設定について』をご覧ください。
- オートディマー機能は、周囲の明るさを感知して液晶画面の明るさを2段階に切り換えます。周囲が明るい場合は、画面を見やすくするために画面を明るくします。また、周囲が暗い場合は、画面のまぶしさ等を低減させるために画面を暗くします。  
(オートディマー機能は、ディマーセンサーが明るさを感知してから約5秒後に反応します。)





# 各種設定と操作について

## 電源のON/OFF

- 1 車のエンジンをかけます。(パーキングブレーキはかけておいてください。)
- 2 「TV電源ボタン」を押すとディスプレイの電源が“ON”になります。
- 3 「TV電源ボタン」をもう一度押すとディスプレイの電源が“OFF”になります。

## お知らせ

◎ディスプレイ側操作ボタンで電源のON/OFF操作ができます。(詳しくは、P.8 “各部の名称と働き”をご覧ください。)

## 設定画面の切り換え

ご使用の前に次の各モードを選択し設定を行ってください。

- 1 「モードボタン」を押すと設定モード画面がディスプレイに表示されます。
- 2 「モードボタン」を押すごとに設定モードが次のように切り換わります。  
(操作終了後、約5秒で元の画面に戻り設定が完了します。)

ディスプレイ内蔵  
スピーカーの出力設定

FMTトランスミッター  
の送信周波数設定

## ディスプレイ内蔵スピーカーの出力設定

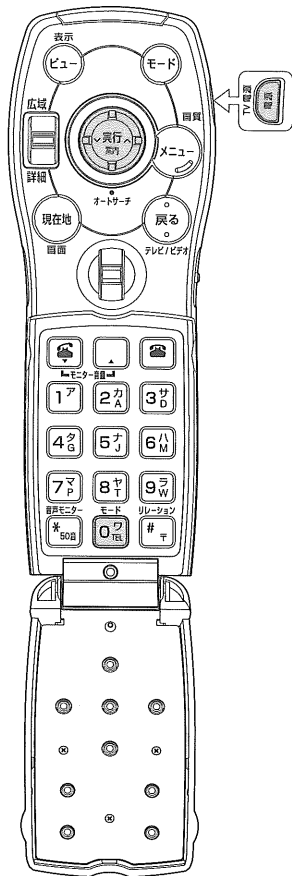
- 1 「モードボタン」を押し、ディスプレイ内蔵スピーカーの出力設定画面にします。
- 2 「ジョイスティック」の左右を押してスピーカー出力のON/OFFを設定します。(初期設定はOFFです。)  
(操作終了後、約5秒で元の画面に戻り設定が完了します。)

## FMTトランスミッターの送信周波数設定

- 1 「モードボタン」を押し、FMTトランスミッターの送信周波数設定画面にします。
- 2 「ジョイスティック」の左右を押して送信周波数の設定します。  
(送信周波数は、76.0MHz～79.0MHzの範囲で0.2MHzステップで16通りの中から選択できます。初期設定は、76.0MHzになっています。)  
(操作終了後、約5秒で元の画面に戻り設定が完了します。)

## お知らせ

- ◎FM放送局との混信を避けるため、FMTトランスミッターの送信周波数は、お使いの地域の放送局と近接(±0.3MHz以内)しない周波数に設定する必要があります。次項の地域別推奨周波数を参考にして周波数を設定し、混信がおこらないことを確認してください。(もし混信が起こる場合は、他の周波数に切り替えてご使用ください。)
- ◎カーラジオ(カーステレオ)のFMTトランスミッター受信周波数設定を自動選局で行う場合、上記で設定した周波数で止まらないことがあります。この場合は、マニュアル選局で周波数を合わせてください。



# 各種設定と操作について(つづき)

北海道地区	76.8MHz 77.6MHz 78.0MHz	近畿地区	77.6MHz 78.0MHz
東北地区	76.6MHz 78.6MHz	中国地区	76.2MHz 78.4MHz
関東地区	76.8MHz 77.6MHz	四国地区	76.6MHz 76.8MHz
中部地区	76.6MHz 77.4MHz	九州地区	76.2MHz 78.2MHz

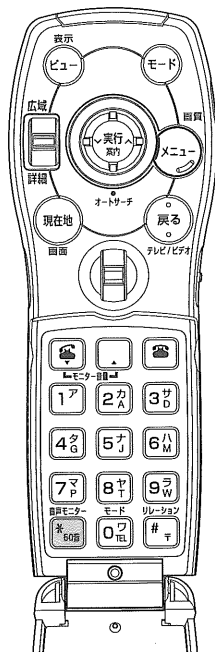
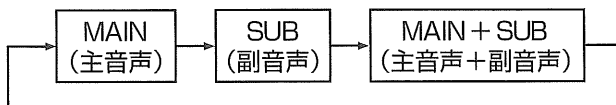
## お願い

◎AM放送を受信する場合は、テレビチューナーの電源を必ずOFFにしてください。  
(音声にノイズが混入する場合があります。)

## 音声モードの切り換え

ご使用の前に次のモードより選択し設定を行ってください。

- 1 『音声モニターボタン』を押すと音声モード画面がディスプレイに表示されます。
- 2 『音声モニターボタン』を押すごとに設定モードが次のように切り換わります。  
操作終了後、約5秒で元の画面に戻り設定が完了します。

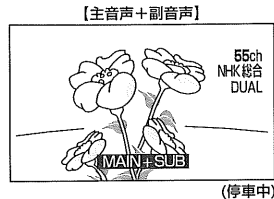
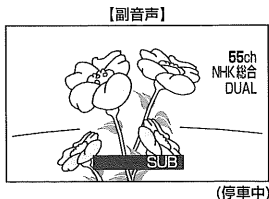
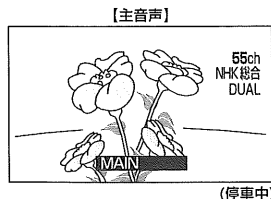


## お知らせ

◎テレビ音声多重放送には、ステレオ放送と2重放送があります。

方式	聞こえる音		用途	
ステレオ放送	ステレオサウンド		音楽番組	
2重放送	2カ国語放送	MAIN(主音声)	日本語(ふきかえ)	外国映画や ニュースなど
		SUB(副音声)	外国語(原語)	
	多重放送	MAIN(主音声)	テレビ画面の音声	プロ野球の応援合戦 やカラオケなど
		SUB(副音声)	もう一つの音声	

◎ステレオ放送時は、画面右上に“STEREO”と表示され2重放送時は、“DUAL”と表示されます。

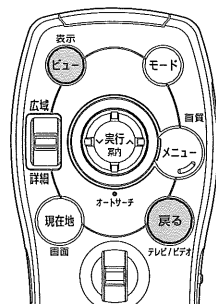


## チャンネルコール

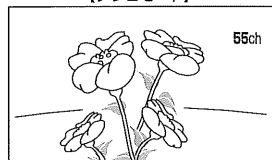
- 1 「表示ボタン」を押すと画面右上に、チャンネル番号と放送局名が表示されます。
- 2 「表示ボタン」をもう一度押すと、画面表示は解除されます。

### お知らせ

- ◎受信状態が悪い(電波が弱い)ときは、放送局が表示されないことがあります。
- ◎ビデオモードの場合は、画面右上に“VIDEO”と表示されます。

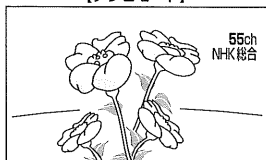


【テレビモード】



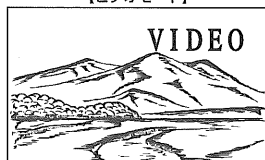
(ナビゲーションシステム非接続/停車中)

【テレビモード】



(ナビゲーションシステム接続/停車中)

【ビデオモード】

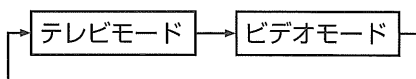


(停車中)

## テレビ/ビデオモードの切り換え

「テレビ/ビデオボタン」を押すごとにモード画面が次のように切り換わります。

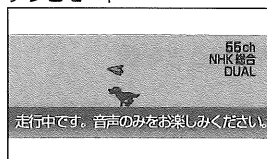
- ◎テレビモード…テレビ放送を表示します。
- ◎ビデオモード…車載用ビデオ機器等を接続時にビデオ映像を表示します。



### お知らせ

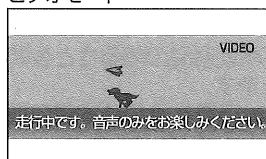
- ◎ナビゲーション映像が表示されているときはナビゲーションユニットの電源を“OFF”にしてから、操作してください。
- ◎テレビモードでは、画面右上にチャンネル表示が約5秒間表示されます。ビデオモードでは、画面右上に表示した状態になります。  
(表示を消したい場合は、チャンネルコール「表示ボタン」をご使用ください。)
- ◎テレビ放送受信時、AMラジオ放送を受信するとテレビアンテナまたは、コードを介してAMラジオ放送に雑音が入ることがあります。AMラジオ放送をお聞きになる場合は、本機(テレビ)の電源を“OFF”にしてください。
- ◎本機では、安全のため、走行中テレビ、ビデオ映像は表示されません。テレビやビデオ映像を見るときは、車を安全な場所に停車させてください。

テレビモード



(走行中)

ビデオモード



(走行中)

# システム設定について

■本機をご使用になる際に、設定しておくくと便利な機能です。以下の機能があります。

## ○オートディマー機能

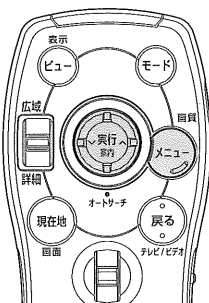
“ON” に設定すると、周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさを自動的に調整します。

## ○ILL連動機能

“連動” に設定すると、車両のイルミネーションに連動してディスプレイの明るさを変更させることができます。

## ○画面モード

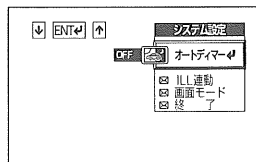
ナビゲーション画像の表示をフル(画面全体)またはノーマル(4:3)に切り替えます。



1 『画質ボタン』を2秒以上押し続けて、システム設定画面を呼び出します。

2 『ジョイスティック』の左右で設定する項目を選択し『ジョイスティック』を押して決定します。

3 選択した項目の設定を行います。

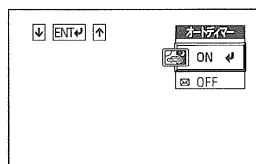


システム設定画面

## オートディマーのON/OFF設定

■『ジョイスティック』の左右で“ON”または“OFF”を選択し『ジョイスティック』を押して決定します。

➡ システム設定画面に戻ります。



オートディマー設定画面

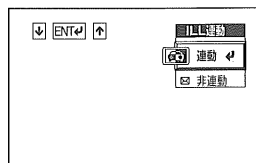
## お知らせ

○“ON”に設定した場合、画質調整メニューの明るさ調整ができなくなります。またILL連動機能も使用できません。

## ILL連動/非連動の設定

■『ジョイスティック』の左右で“連動”または“非連動”を選択し『ジョイスティック』を押して決定します。

➡ システム設定画面に戻ります。



ILL連動設定画面

## お知らせ

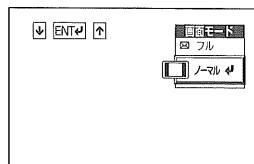
○“連動”に設定した場合、画質調整メニューの明るさ調整において、昼間使用時の明るさと夜間使用時の明るさを個別に設定できます。

○ILL連動機能を使用するには本機のILL(イルミネーション)電源端子を正しく配線しておく必要があります。

## 画面モードの設定

- 『ジョイスティック』の左右で“フル”または“ノーマル”を選択し『ジョイスティック』を押して決定します。

➡ システム設定画面に戻ります。

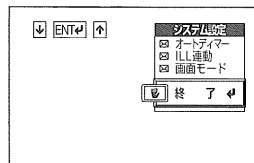


画面モード設定画面

## お知らせ

- ◎本ナビゲーションシステムは、ワイド画面用です。ナビゲーション画面で画面モードの設定を“ノーマル”モードで使用すると表示の尺度が狂いますのでご注意ください。

- 4 各項目の設定終了後、『ジョイスティック』の左右で“終了”を選択し、『ジョイスティック』を押します。



設定終了画面

## お知らせ

- ◎システム設定中、一定期間(約7~10秒)操作を行わないでいると、自動的に通常画面に戻ります。再度調整が必要な場合は、項目 **■** からやり直してください。

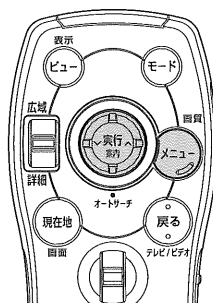
# 画質調整について

■ディスプレイの画質(明るさ/色の濃さ/色合い/コントラスト)を調整します。

1 『画質ボタン』を押して、画質調整メニュー画面を呼び出します。

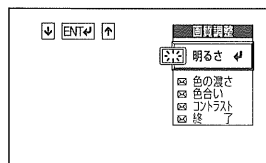
2 『ジョイスティック』の左右で調整する項目を選択し『ジョイスティック』を押して決定します。

➡それぞれの調整画面が表示されます。

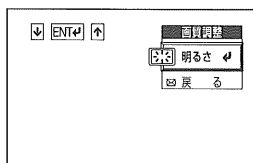


## お知らせ

◎ナビゲーション画像表示中に『画質ボタン』を押すと画質調整メニューに“明るさ”のみが表示されます。それ以外の項目は表示されず調整できません。



画質調整メニュー画面  
(テレビ/ビデオ画面表示中)



画質調整メニュー画面  
(ナビゲーション画面表示中)

3 選択した項目の設定を行います。

## 明るさ調整

■『ジョイスティック』の左右で見やすい明るさに調整し、『ジョイスティック』を押して決定します。

➡画質調整メニュー画面に戻ります。

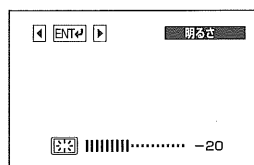
### ※夜間使用時の明るさ設定

システム設定でILL連動を設定している場合は、夜間使用時の明るさを設定できます。

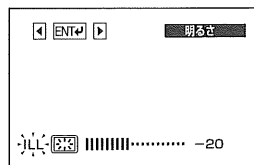
“明るさ調整画面”表示中に車幅灯前照灯を点灯させると夜間使用時の調整画面に切り替わります。

『ジョイスティック』の左右で見やすい明るさに調整し、『ジョイスティック』を押して決定します。

➡画質調整メニュー画面に戻ります。



明るさ調整画面



明るさ調整画面(夜間使用時)

## お知らせ

◎冬期などの低温時に本機の電源を入れた場合、電源投入からしばらくの間は明るさ調整を行っても実際の画面明るさが変化しないことがあります。これは本機に低温時の画面輝度を早急に回復させる機能が搭載されているためであり故障ではありません。



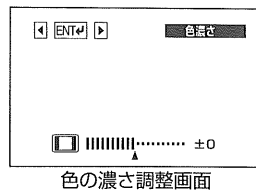
## 色の濃さ調整

■『ジョイスティック』の左右で好みの濃さに調整し、『ジョイスティック』を押して決定します。

➡画質調整メニュー画面に戻ります。

『ジョイスティック』の右 ⇔ 色が濃くなります。

『ジョイスティック』の左 ⇔ 色が淡くなります。



色の濃さ調整画面

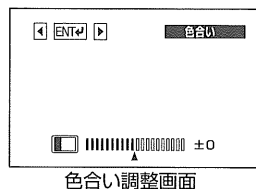
## 色合い調整

■『ジョイスティック』の左右で好みの色合いに調整し、『ジョイスティック』を押して決定します。

➡画質調整メニュー画面に戻ります。

『ジョイスティック』の右 ⇔ 画面が赤色を帯びます。

『ジョイスティック』の左 ⇔ 画面が緑色を帯びます。



色合い調整画面

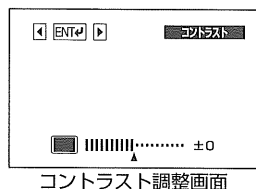
## コントラスト調整

■『ジョイスティック』の左右で見やすいように調整し、『ジョイスティック』を押して決定します。

➡画質調整メニュー画面に戻ります。

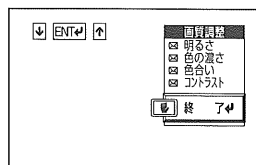
『ジョイスティック』の右 ⇔ 画像のメリハリを強くします。

『ジョイスティック』の左 ⇔ 画像のメリハリを抑えます。



コントラスト調整画面

4 各項目の調整終了後、『ジョイスティック』の左右で“終了”を選択し、『ジョイスティック』を押します。



調整終了画面

## お知らせ

◎画質調整中、一定期間(約7~10秒)操作を行わないでいると、自動的に通常画面に戻ります。再度調整が必要な場合は、項目 ■ からやり直してください。

# テレビを見るには

■テレビ音声をカーラジオ(FM)で受信する場合は、下記操作の前にカーラジオの電源をONにして、FMラジオ受信状態にしてください。受信周波数はFMトランスミッターの送信周波数に合わせてください。

## テレビモードへの切り換え

■「**テレビ/ビデオボタン**」を押しテレビモードを選びます。  
(画面右上にチャンネル番号が約5秒間表示されます。)

**選局方法** 選局には、4つの方法があります。

### 手動選局

○「**ジョイスティック**」の右または左に倒すと、1チャンネルずつ上がるまたは下がります。

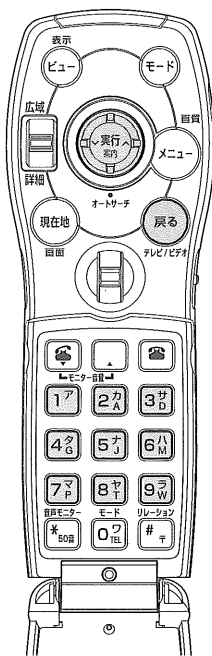
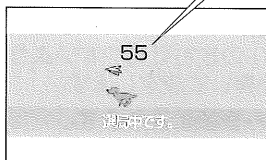
#### 手動選局

受信チャンネルが表示されます。



#### 自動(シーク)選局

受信チャンネルが表示されます。



### 自動(シーク)選局

○「**ジョイスティック**」を右または左方向に2秒以上倒し続けると、チャンネルが自動的に上がる、または下がり放送局があるところで自動的に止まります。

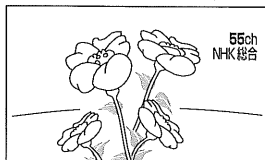
### プリセット選局

○「**プリセットボタン(1~9)**」でメモリーされている放送局を選局します。  
(あらかじめプリセットメモリーで放送局をメモリーしてください。)

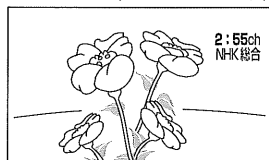
#### プリセットメモリーのしかた

- 1 手動選局または、自動(シーク)選局でメモリーしたい放送局を選局します。
- 2 「プリセットボタン(1~9)」のいずれかを長押し(2秒以上)すると、そのボタンに選局したい放送局がメモリーされます。(プリセットメモリーは、9局まで可能です。)

#### プリセット選局(選局時)



#### プリセット選局(ボタン2にメモリー後)



#### お知らせ

■すでにメモリーされているボタンにもう一度メモリーしたときは、前にメモリーされた放送局は取り消されます。

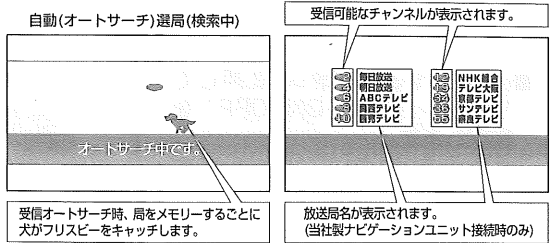
### 自動(オートサーチ)選局

○「**ジョイスティック**」を下方向に2秒以上倒し続けると、自動的に受信可能な放送局を選局していきます。(最大10局)

○「**ジョイスティック**」を下方向に倒すと、選局した放送局を順次呼び出すことができます。操作終了後、約5秒で表示が消えます。

### お知らせ

- オートサーチでは、プリセットメモリーとは別の放送局がメモリーできます。
- 受信可能な放送局が10局より少ない場合は、受信可能な放送局だけメモリーされます。
- 受信可能な放送局名が画面に表示されるのは当社製ナビゲーションユニットを接続している場合のみです。(チャンネルは表示されません。)



## ビデオを見るには

- 映像入力端子、オーディオ入力端子に車載用VTR機器を接続しますと車内でビデオ映像と音声がお楽しみ頂けます。(詳しくは、車載用VTR機器の“説明書”をご覧ください。)

### 映像モードへの切り換え

- 『テレビ/ビデオボタン』を押しビデオモードを選びます。

### お知らせ

- 画面表示はナビゲーション映像が優先となります。ビデオ映像を見る際には、ナビゲーションユニットの電源を“OFF”にしてください。
- コピーガード付きビデオテープをご使用の場合、“VIDEO”の表示位置(画面右上)が正規表示位置に表示されないことがあります。
- 映像入力端子に映像入力信号が入力されると“VIDEO”の表示は消えます。

### 後方監視カメラの映像について

- 車両のシフトレバーをリバース(R)に入れてください。本機は、車両のリバース(R)信号を検知し、電源の“ON/OFF”に関係なく後方監視カメラの映像を表示します。

## ナビゲーションを見るには

- 詳しくは、別冊の“ナビゲーションシステム取扱説明書”をご覧ください。

### ナビゲーション映像の表示

- リモコンの『ナビ/テレビ切替スイッチ』をナビ側にし、『電源ボタン』を押すか、ディスプレイ側の『NAVボタン』を押すとナビゲーションモードとなり映像が表示されます。

### お知らせ

- 画面表示はナビゲーション映像が優先で、ナビゲーション映像を表示中にテレビの電源を“ON”にするとナビゲーション映像のまま音声は、テレビまたは、ビデオになります。(ナビゲーションの電源を“OFF”にするとテレビまたは、ビデオ映像になります。)

### 音声ガイドについて

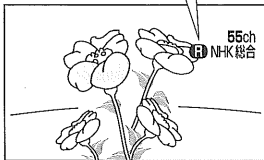
- ナビゲーションの音声ガイドは、専用ディスプレイ接続端子に接続したディスプレイの内蔵スピーカーより出力されます。音量調整は『モニター音量ボタン』で調整してください。

# リレーション機能と操作のしかた

## リレーションのON/OFF設定

- 1 『リレーションボタン』を押してリレーションの“ON/OFF”を設定します。  
(リレーションを“ON”に設定すると **R** が表示されます。)

リレー機能のON/OFFを表示します。

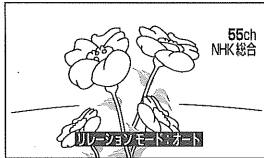


テレビモード (停車中)

## リレーションモードの設定

- 1 『リレーションボタン』を長押し(2秒以上)し、リレーションの詳細設定画面にします。
- 2 『ジョイスティック』の左右を押し『オート』または『マニュアル』を選びます。

リレーションモードの設定



(停車中)

**オート** ⇨ 受信中のテレビ放送の受信状態が悪くなったとき、自動的にリレーション機能が働き受信チャンネルに切り替わります。

**マニュアル** ⇨ 約5秒後に画面が切り替わり、リレーション動作が始まります。

## お知らせ

- ◎ 『マニュアル』を選ぶと下記リレーションの感度設定は表示されません。約5秒で元の画面に戻り設定が完了します。

## リレーションの感度設定

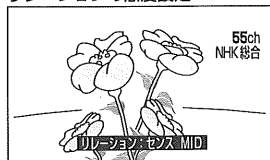
- 1 『リレーションボタン』を押しリレーションの感度詳細設定画面にします。
- 2 『リレーションボタン』を再度押します。
- 3 『ジョイスティック』の左右を押し **LOW** **MID** **HIGH** の中から使用状況に合った感度を選びます。

**LOW** ⇨ 受信中の電波が非常に弱くなり受信不可能になると、リレーション動作を開始します。

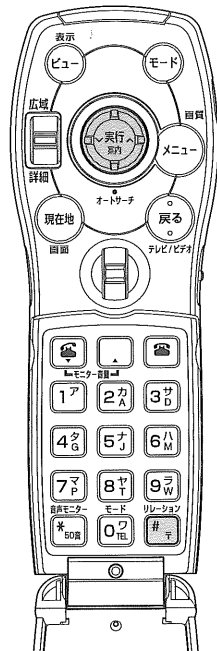
**MID** ⇨ LOWとHIGHの中間の条件でリレーション動作を開始します。

**HIGH** ⇨ 受信中の電波が少し弱くなると、リレーション動作を開始します。

リレーションの感度設定



(停車中)



## リレーションの動作と表示設定

■リレーションの動作が開始されると、リレーションサーチ(開始)画面が表示されます。



■受信中の放送局と同一ネットワーク内の受信可能な放送局を検索し、そのチャンネル番号と放送局名を順次表示します。



■受信可能な放送局の中で最も受信状態の良い放送局を選択し、そのチャンネル番号と放送局名を表示します。



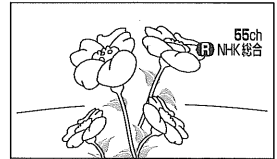
■その放送局の映像を表示します。

リレーションサーチ(開始)



(停車中)

リレーションサーチ(終了)



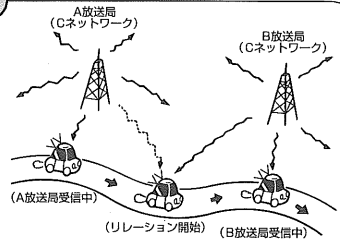
(停車中)

## お知らせ

- リレーション動作中、受信可能な放送局が見つからない場合は、待機状態となりリレーションサーチ画面が表示されたままになります。
- リレーション待機中、受信可能な放送局が見つかるまで検索を繰り返します。(リレーション待機中は、テレビ音声は出力されません。)
- リレーション待機状態を解除するには、『ジョイスティック』で選局を行ってください。

## リレーション(同放送局自動追尾)機能とは

■テレビ放送受信中に受信している放送局のサービスエリアから離れ、受信状態が悪く(電波が弱く)なったとき、受信中の放送局と同一ネットワーク内の受信可能な放送局を検索し、受信している放送局のチャンネルを自動的に切り替えることにより継続して同じ番組を受信することができる機能です。

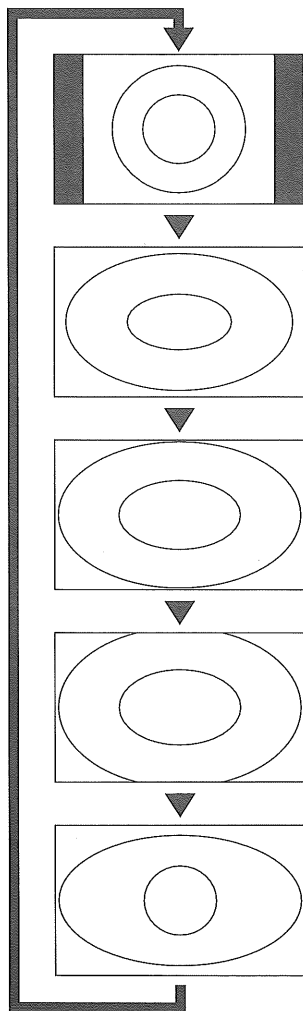


- 本機と付属のナビゲーションユニットを接続することにより、現在受信している放送局と同じ系列の放送局を地域毎に検索することができます。
- 全国ネット放送以外のテレビ番組(ローカル番組)を受信している場合、同一番組を受信することはできません。(受信している放送局が切り替わると番組が異なります。)
- 山間部、高層ビル街など電波状態が悪い地域では、リレーション機能が正常に動作しない場合があります。
- 受信中の放送局と同一のネットワーク内の放送局においても、時間帯などにより同一放送内容ではない場合があります。
- 一部の地域では正確なリレーションおよび放送局名表示ができない場合があります。
- 放送局のチャンネル番号とサービスエリアの情報は、本機開発時点のものです。新しく開局した放送局については、対応できません。

# 画面モードの切り替え

■本機は5種類の画面モードを用意しています。映像の内容により画面モードを適宜切り換えてご使用ください。

**画面モードの切り換え** 「画面ボタン」を押ごとに画面モードが切り換わります。



## <ノーマル>

通常画面の映像(横縦比4:3)を表示します。

## <フル>

通常の映像を画面全体に拡大して表示します。

## <ズーム>

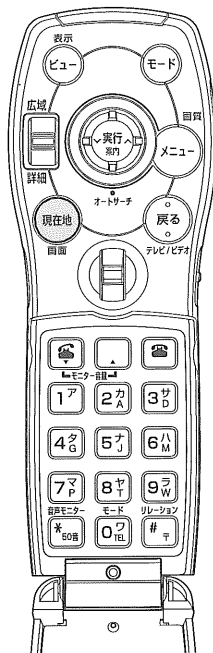
通常の映像を画面全体に(上下左右に)拡大して表示します。但し、映像の上下が欠ける場合があります。

## <シネマ>

字幕入りの映像を画面全体に見やすく拡大して表示します。

## <ワイド>

画面の中心部より横方向に徐々に拡大して画面幅全体に表示します。


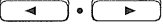




## お知らせ


- ◎ナビゲーション画面の画面モード切り替えは"システム設定のしかた"の画面モード設定(P.14)にて行ってください。
- ◎テレビ番組等ソフトの映像比率の異なるモードを選択しますと、オリジナルの映像と違った見え方になります。この点を留意して画面モードを選択してください。
- ◎本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として使用する場合、画面モードの切り替え機能により画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと著作権上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

# ディスプレイ側での操作

■ディスプレイの設定や調整の一部を天面のボタンで行うことができます。

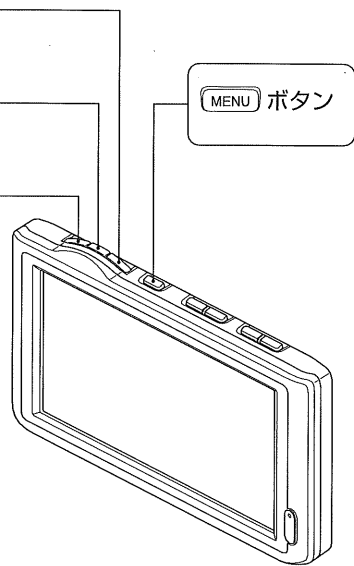
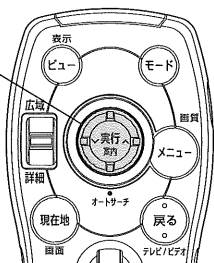
 ボタン	"メニュー画面"を呼び出します。2秒以上押し続けると"システム設定画面"を呼び出します。
 ボタン	各画面での項目の選択や調整に使用します。通常画面(テレビ放送表示時)では受信チャンネルの上げ下げに使用します。
 ボタン	各画面での項目や調整の決定に使用します。

 ボタン  
リモコンの『ジョイスティック』右に相当します。

 ボタン  
リモコンの『ジョイスティック』押すに相当します。

 ボタン  
リモコンの『ジョイスティック』左に相当します。

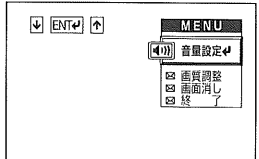
リモコンの『ジョイスティック』



## 画面消しについて

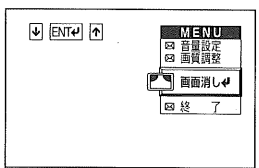
■ナビゲーションシステムやテレビチューナーを動作させたままディスプレイの画面のみ消すことができます。

1 『MENU』ボタン』を押し、“メニュー画面”を表示させます。



メニュー画面

2 『←・→』ボタン』で“画面消し”を選択し『ENT』ボタン』を押すと画面が消えます。(再度表示させたい場合は、ディスプレイ天面のいずれかのボタンを押します。)



画面消し設定画面

## お知らせ

■本機能はディスプレイのボタンのみで使用可能です。(リモコン操作では設定できません。)

# 映像出力について

- テレビチューナー部の映像出力端子に、後部座席用のディスプレイを接続すると、後部座席でも映像を楽しむことができます。
- 接続については、取付要領書を参照してください。

ナビゲーション電源	テレビチューナー電源	前席映像	後席映像
OFF	OFF	OFF	
	ON	TV または VIDEO画面 <sup>※</sup>	
ON	OFF	ナビゲーション画像 <sup>※※</sup>	ナビゲーション画像 <sup>※※</sup>
	ON		DVD画面
	ON または OFF	DVD画面 <sup>※</sup>	

(※) 走行中、前席ディスプレイに映像は表示されません。(映像制限画面となります。)

(※※) CD/MP3/ミュージックフォルダ/JAVAアプリ等の画像を含みます。



# 故障かな？と思ったら

■ちょっとした操作ミスや配線間違いで、故障と勘違いすることがあります。修理を依頼される前に下記のようなチェックを行ってください。

	症状	原因	処置	参照ページ	
接続時	電源が入らない	電源コードまたは接続コードの接続不良	説明書に従い正しく配線してください	(※1)	
		車のバッテリーがあがっている	バッテリーを確認してください	—	
	受信できない	アンテナコードの接続不良	説明書に従い正しく配線してください	(※1)	
テレビ操作時	映りが悪い。雑音が出る	放送局の周波数が合っていない	正しい周波数に合わせてください	17	
	自動選局ボタンを押しても選局しない	山間部、高層ビル街などで電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください	—	
	画像にはん点やしま模様ができる	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車からの影響			—
		他の搭載機器から妨害電波を受けている	おたがいの配線をなるべく離してください	—	
	画像が二重三重になる	近くの山やビルで電波が反射している	アンテナの位置、方向、高さを調整してください。または、他の場所に車を移動してください	—	
	画像に色がつかない	白黒の番組を受信している	他の番組に切り換えて確認してください	17	
	画像が不鮮明	電波が弱いまたは、受信中の放送局のエリアから外れている			
	画像が出ない	テレビモードになっていない	テレビモードに切り換えてください	12,17	
音が悪い(歪む)	F M放送局と混信している	周波数を合わせてください	10,11		
音が出ない	ラジオの周波数と本機設定周波数が合っていない				
ナビ操作時	アスペクトボタンで画面モードが切り換わらない	故障ではありません	システム設定の“画面モード”で設定してください	13,14	
	音声ガイドが出ない	音量が最小になっている	音量を適度に上げてください	9,18	
共通操作時	色が明るいまは、暗い	車内の温度が低い	ヒーターで車内の温度を上げてください	—	
		明るさの調整が不適當	見やすい画質に調整してください	15,16	
	色や色合いが悪い	色合いの調整が不適當			

(※1) 別冊“取付要領書”を参照してください。

# 故障かな?と思ったら(つづき)

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
共通 操作時	画像が出ない	ディスプレイの電源が入っていない	ディスプレイの電源を入れてください	8 10,18
		リレーションの設定不良	説明書に従い正しく設定してください	19,20
リ レ ー シ ョ ン 操 作 時	動作しない	接続コードの接続不良	説明書に従い正しく接続してください	(※1)
		受信できない	山間部、高層ビル街などで電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください
	放送局名が表示されない	新しく開局した放送局である	故障ではありません	—
	受信していた放送局と異なった番組に切り換わる	受信していた番組がローカル番組である		20
リ モ コ ン 操 作 時	リモコンが動かない	電池が入っていない	電池を入れてください	5
		電池の入れかたが間違っている	正しく電池を入れ直してください	
		電池が消耗している	新しい電池と交換してください	
		リモコン信号受光部に向けて操作していない	正しく操作してください	5,6
		リモコン信号受光部または、リモコン信号送信部が汚れている	清掃してください	
		リモコン信号受光部に直射日光が当たっている	直射日光をさえぎってください	

(※1) 別冊“取付要領書”を参照してください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

**保証期間中の修理は** → 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は** → 修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。

なお当社はナビゲーションシステム関連機器の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後6年間保有しています。

- アフターサービス(修理)に関するお問い合わせは、お買い上げ店、別紙サービス相談窓口一覧表の地区別サービス店ならびに代理店相談窓口へご相談ください。

# 主な仕様

■本機の仕様および外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

ディスプレイ部	種類	液晶カラーディスプレイ	
	画面サイズ	対角18cm	
	画素数	112,320画素 (水平480×垂直234)	
	副画素数	336,960画素 (水平1440×垂直234)	
	画素ピッチ	水平0.321mm×垂直0.372mm	
	視野範囲	(コントラスト比 $\geq$ 10) 標準値 左/右: 85/85 (deg) 上/下: 85/85 (deg)	
	液晶	透過型PS方式フルカラー液晶パネル	
	駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式	
	副画素色配列	RGBストライプ配列	
	バックライト	冷陰極管エッジライト方式	
	表面処理	AG+LRコート	
	入力端子	映像入力レベル	RGB信号入力 (アナログ方式) 0.714Vp-p/75 $\Omega$ (22P専用コネクター内) VIDEO信号入力 (コンポジット方式) 1Vp-p/75 $\Omega$ (22P専用コネクター内)
		オーディオ入力レベル	max 1Vp-p/22k $\Omega$ (22P専用コネクター内)
	画質調整	RGB信号入力時 明るさのみ VIDEO信号入力時 明るさ/色の濃さ/色合い/コントラスト	
	使用温度範囲	0 $^{\circ}$ C $\sim$ +55 $^{\circ}$ C	
最大消費電流	約1.2A		
外形寸法	197 (幅) $\times$ 120 (高さ) $\times$ 35 (奥行き) mm		
電源電圧	DC12V (テレビチューナーより供給)		
質量	約440g		

テレビチューナー部	種類	TVチューナー
	回路方式	PLLシンセサイザー
	受信方式	NTSCカラー方式
	受信チャンネル	VHF: 1 $\sim$ 12チャンネル
		UHF: 13 $\sim$ 62チャンネル
	アンテナインピーダンス	75 $\Omega$ 不平衡
	映像入力レベル	1Vp-p/75 $\Omega$ (ピンジャック部)
	映像出力レベル	1Vp-p/75 $\Omega$ (ピンジャック部)
	オーディオ入力レベル	1Vp-p/47k $\Omega$ (ピンジャック部)
	使用温度範囲	0 $^{\circ}$ C $\sim$ +55 $^{\circ}$ C
	最大消費電流	約0.8A (ディスプレイ供給分を除く)
	外形寸法	178 (幅) $\times$ 25 (高さ) $\times$ 159 (奥行き) mm
	電源電圧	DC12V (10.8 $\sim$ 15.6V使用可)
質量	約610g	

テレビアンテナ	受信チャンネル	VHF: 1 $\sim$ 12ch
		UHF: 13 $\sim$ 62ch
	インピーダンス	75 $\Omega$ 不平衡
	接続端子	$\phi$ 3.5mm L型ミニプラグ
	コード長	6m
	外形寸法	30 (幅) $\times$ 28 (高さ) $\times$ 201.7 (奥行き) mm
質量	約500g (両側本体のみ、ケーブル含む)	

 三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

04-05 N871L59661